

# 京都 観光

— 40人の提言

Miyoshi katsuyuki  
三好克之

「京都観光の将来は絶望的」——。

この一言に驚いて、古希を迎えた元記者が半年間、  
京都市内の観光地を回り、観光関係者から実情を聞いた。  
京都観光の「今と明日」を探る。



各種のイベントが行われる「たまりば」

旧跡を回るだけでなく、伝統工芸などを自分でやってみる体験型の観光をもっと広げてほしい。今は若いアーティストたちが積極的に情報発信をしているので期待できます。いろんな伝統工芸を盛んにして、京の町を盛り上げようとしていくのです。

京都には、まだ知られていない観光の魅力がたっぷり残っています。新しい旅行プランが企画され、お寺を巻き込んだイベントなども行われています。

若い人たちと共同して、観光ビジネスを立ち上げることがとても大切です。この若い力を結集すれば、これからの京都は大きく変わっていくでしょう。

今後の活動は、地域社会の活性化を目指して、京町家の復活など、いろんな行動に挑戦していきたいと考えています。

## 若い人たちと共同して、 観光ビジネスを 立ち上げることが大切です

いろんな方と不動産の相談にのる中で、地域の住民が自由に使える多目的スペースを店内に造ることを考えました。二年前から「TAMARIBA（たまりば）」と名付けて運営しています。

このサロンは、美術展、音楽会、語学教室などで使ってもらっています。喫茶コーナーや、理容室を併設したのは、サロン利用者の利便を考えましたからです。外国からの研究者や留学生も出入りしてにぎやかな場所になっています。

過去にロンドンで生活したことがあり、国際観光に興味を持っています。日本への外国人観光客が多くなってきましたが、将来は、さらに増えると考えています。そのためには、海外への情報発信を充実させる必要があります。

観光客の増加に対応するには、宿泊先を増やすことが急務です。このままでは到底、ホテルや旅館が足りません。民泊を進めるための規制緩和がほしいのです。

京都観光では、どうやってリピーターを増やすかが急務になっています。観光客が単に名所

### よしだ こういち

1950年、横浜市生まれ。高校卒業後、約1年半、世界各地を旅行、ロンドンに長期滞在。1974年、フラットエージェンシーを創業。同社社長の後、2015年から同協会会長。日本賃貸住宅管理協会理事。



### TAMARIBA（たまりば）

京都市北区北大路通堀川西入ル  
電話075(431)2244

フラットエージェンシー  
取締役会長  
吉田光一さん